



Washington Japanese Language School

ワシントン日本語学校

はなみずき

mail:wjls@wjls.org <http://www.wjls.org/>

2019年12月7日発行 第28号

ワシントン日本語学校
校長 森 宏 介

[ワシントン日本語学校事務局]
HOT LINE (301)962-7415
TEL (301)962-7410
FAX (301)962-7411



新たな学習方法説明会を開催しました

11月23日、「新たな学習方法説明会」を開催しました。会場のカフェ4がいっぱいになるほど多くの皆様に
お集まりいただきました。心より感謝申し上げます。ここでは、その概要についてお知らせいたします。

1. 教員業務の見直しについて

「授業準備は勤務時間外に自宅で」については変更ありません。授業日数41日も確保します。変更するのは学校行事と会議研修、保護者との連携の3点です。授業参観や行事、会議や研修等を見直し、教員に負荷がかかり過ぎないようにします。保護者の皆様に直接かかる変更点は、教員との連絡方法です。教員が勤務時間外で行う保護者の皆様とのメールのやりとりは教員にとって大きな負担となっています。日常的に連絡ボックスを開き、担任からの連絡を確認すること、生徒にかかる相談は、メールではなく授業日に担任と直接会って話をさせていただきますようお願いいたします。

2. 新たな指導方法の概略

学習は全て、言語活動、具体的には「話す・聞く」「読む」「書く」を通じて行われています。文献を読むだけの学びも十分可能ですが、それをより効果的に行うためには、それを要約したり再構成したりする「書く活動」、または、指導者からの解説を聞いたり、質問し理解する等の「話す・聞く活動」、を有機的に組み合わせて行うことが大切です。新たな学習方法では、このような言語活動を大切にします。

また、教室は常に複数の人間が知識や考え方を交流する場、言い換えると「学び合い」が存在する場です。新たな指導方法は、言語活動に加え、「学び合い」を大切にします。具体的には、①重点単元を決めること、②1時間にひとつ「言語活動」を位置付けること、③「読む」「書



新たな学習方法にかかる説明会の様子

く」「話す・聞く」を組み合わせた学習展開にすること、④学習の目的意識、相手意識をもたせること、⑤目的を達成するための協働場面をつくることの5点をコンセプトにした授業づくりを目指します。

3. 小学部1・2年生の学習

低学年で学習の基礎をつくることはとても大切です。全日制の日本人学校にも日本語が弱い子どもがいます。そこでは、現在、そのような子どもを対象に、「日本語の補習授業」を行い一定の成果を上げています。来年度は、保護者の皆様に台北日本人学校の補習内容を家庭で実施していただくことを前提にした教材提供と講習会を開催します。

4. 小学部3～6年生の学習

重点単元を設定することで学習効果を高めます。また、第2の担任である保護者と学習計画を共有し、第2の教室である家庭での学習を授業に取り入れながら展開していくことを模索します。
(裏面に続く)

5. 補習授業校の性格と保護者の役割

補習授業校は、現地校に通学する児童生徒が、再び日本国内の学校に編入した際にスムーズに適應できるよう、基幹教科の基礎的・基本的知識・技能および日本の学校文化を、日本語によって学習する教育施設であると定義されています。補習授業校と現地校あるいはインターナショナルスクールという就学形態を経て帰国した児童生徒を対象とした追跡調査によると、帰国後スムーズに適應する条件として、①補習授業校の勉強をしっかりとやること、②家庭内では日本語を使うこと、③日本語の本を読むことの3点が大切であることが明らかになっています。復習の励行・家庭学習の習慣化・宿題や提出物の期限厳守は、補習授業校の一員としての務めであるという認識のもと、保護者は第2の担任、家庭は第2の教室の役割を果たしていただきたく存じます。

6. 実力テストの導入

実力テストは、学校並びに保護者が子どもの状況に向き合い、必要に応じて家庭で実施する補充学習を効果的に行うことを目的にします。テストは、3年生と6年生の4月に実施します。5月末までに結果を集計し、6月初旬には結果をお知らせします。お子さんの学習や将来についての相談したい方には、校長と教頭が相談に応じます。それぞれのご家庭におきましては、テストの結果を参考に家庭で補充学習を行っていただければ幸いです。6年生は中学校への進学が控えています。そこで、進学にあたっての保護者・学校の心配事について相談し合う「進学相談会」を開催することも視野に入れています。このことをご理解の上、実力テストを十二分にご活用くださいますようお願いいたします。

コース別学習の廃止、実力テストの導入など、事象だけをとらえると、変化に対応することを止め、帰国を前提とする補習校に戻そうとする意図が前面に表れているような印象を受けるかも知れませんが、私の意図はむしろ逆です。様々な困難を乗り越え、全ての生徒が目標に応じた学びを展開して欲しいと願っています。

新たな学習方法に向けて学校も力を注ぎます。保護者の皆様におかれましても、学校における学びと連携した家庭学習を通して子どもの支援にあたっていただきますようお願いいたします。

ウィートン救急隊表敬訪問

11月19日、ウィートン救急隊を訪ねました。運動会を開催するにあたっての最大の心配事は、命にかかわる事故とその対処方法です。大怪我や突然のショックなど緊急事態に対応するため、毎年、1日を通して救急隊員に控えてもらっています。今回は、感謝状と心ばかりのお礼の品を届けてきました。



救急車の前で隊長さんとツーショット

12月の行事

- 7日 管理運営委員会
桜祭り説明会（中2対象）
- 14日 中高説明会（小6、中3対象）
- 21日 中高説明会（予備日）
運営委員会・教員懇親会

※来年度、中学部及び高等部に進学希望の方は、中高説明会に必ず参加してください。参加されない場合、進学できません。